

## 令和3年度 第3学期 始業式式辞

もう年が明けて10日経っていますから、今さら新年の挨拶をするのはおかしいと思う人もいるかもしれませんが、今日は新年になって初めて全校生徒が集まる日ですから、改めて新年の挨拶をします。

皆さん、あけましておめでとうございます。

令和になって3度目の新年ですが、皆さんはお正月をどのように迎えたでしょうか。新型コロナウイルスに関しては、ある程度予想されていたとはいえ、第6波がはじまりました。3学期も引き続き、手洗い、うがい、マスクの着用など、各自でしっかり感染症対策をしてください。

さて、冬休みが終わりました。終業式の式辞の中で、自分が、何もしなければ達成できないけれど、少し努力すれば達成できる、実現できる目標を設定してほしいといいましたが、何かしらの目標を立てることができたでしょうか。目標を立てることができたなら、心に留（とど）めておくだけでなく、紙に書いて見える場所に貼っておくことをお勧めします。

フィギュアスケートの羽生弦（はにゅうゆずる）選手が、年末に行われた全日本選手権で、見事に優勝し、北京五輪代表に選ばれました。テレビでも放送していたので、見た人もいると思います。私もちょうど、フリーの演技をリアルタイムで見えていましたが、今までだれもやったことのない4回転アクセルのジャンプに挑戦しました。残念ながら両足着氷になってしまい、4回転アクセルとは認定されませんでした。本当においしいジャンプでした。

彼は、平昌オリンピックが終わった頃から、次は4回転アクセルに挑戦すると公言していました。心に留めておくのではなく、公言することで、挑戦せざるを得ない状況をつくりあげ、自分を追い込んでいったのです。私たちから見れば、才能に溢れる羽生選手ですから、少し練習すればできるのではないかと思います。練習で何度も転ぶようすや、ケガで苦しむ

様子、ジャンプの軸を早くつくろうとフォームを研究している様子を見ると、私の半分ほどの年齢ですが、心から尊敬し、応援したくなります。

目標をあえて公言して自分を追い込む、それが彼のやり方です。まねをしなさいとは言いませんが、まわりの人には見えないけれど、自分の目に見える場所に目標を掲げることで、自分から逃げないようにすることは、皆さんの今の時期には必要なことかもしれません。

話は少し変わりますが、2学期の終わりごろ、学校が元気になればいいなとか、がんばっている皆さんを励ますことができたらいいなと考えた私は、校内の掲示物をつくるために、自分の携帯端末を使って、有名な人が残した名言や格言をインターネットで調べていました。すると、調べ終わって数日間くらいでしょうか。私が頼んでもいないのに、携帯端末の画面に、有名な人の名言や格言が表示されます。おそらくAIを使った技術でしょう。使っている人が興味を持っているものを勝手に表示します。最近の情報通信技術はすごいなと思いますが、せっかくなので、そのなかから、私が共感できたものを1つ紹介します。

#### ●日本が誇る偉大なアニメーター宮崎駿さん

才能はたいていの人を持っているんだけど、才能のあるなしじゃなくて、それを発揮するエネルギーがあるか、どうか

先ほど、羽生選手に対して、私は「才能溢れる」という言葉を使いましたが、宮崎監督は、才能はたいていの人を持っているとっています。自分が何かに取り組んで、うまくいかないとき、自分には才能がないとあきらめがちですが、大切なことは才能のあるなしではないと言っているのです。

そのほかに、私が皆さんに知ってほしい言葉があります。

#### ●英国（イギリス）の女性作家 ジョージ・エリオットさん

**It never too late to be what you might have been.**

なりたかった自分になるのに遅すぎるということはない。

あなたは、今からやり始めるのは遅いと考えていませんか。今さら変われないと考えていませんか。あなたががんばろう、やろうと思った時がそのときです。決して遅すぎると言うことはないのです。この言葉は、中学校を卒業しても、将来にわたって知っておいてほしいと思います。

また、

●NBA、元プロバスケットボール選手 マイケル・ジョーダンさん

**Step by step.**

**I can't see any other way of accomplishing anything.**

どんなことでも、何かを達成する場合にとるべき方法はただ一つ、一歩ずつ着実に立ち向かうことだ。これ以外に方法はない。

そして、あなたがやろうと思った時、目標ができたとき、それを達成するために必要な心構えをマイケル・ジョーダンは説いています。「バスケットボールの神様」と言われた彼でさえ、Step by step、一歩一歩着実に、なのです。

さて、皆さんには、皆さんの心に秘めた言葉や、座右の銘があるかと思いますが、新学期にあたり、私が皆さんに伝えたいことを有名人の名言、格言をお借りして表してみました。

そして、もう一つ、学校全体で私が皆さんに共通して意識しておいてほしいこと、それは「動と静」です。活動するときと、静かに集中するときのけじめをしっかりつけることで、一人一人の目標の達成に向けた取組の効果が一段とあがるはずです。

結びに、寒い季節ですが、一人一人が心も体も健康であること、また、今年が皆さんにとって飛躍の年になることを願って、3学期始業式の式辞といたします。

令和4年1月11日

観音寺市立中部中学校長 三好健浩